

定機がないことから、木曾観測所では乾板の集中管理方式をとり、帶出できないシステムになっているが、フィルムコピーは十分にその代りを果すであろう。パロマーや ESO (チリ), SRC (オーストラリア) のシュミット原板コピーに対しても遜色のないコピーシステムが保証されたことは、木曾の観測データの利用の幅を大きく拓げるものと期待している。

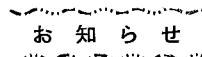
## その他の

### 1. Kiso Information Bulletin の発行

1979年6月に第1号を発刊した。内容としては撮影全乾板のデータ(番号、撮影日時、天域番号、赤経・赤緯、乾板乳剤、フィルター、露出時間、乾板品質)、観測および測定のプログラムリスト、文献表、および諸種の情報を盛り、毎年2回発行の予定である。シュミット乾板の利用上のガイドとして役立てば幸である。

### 2. 測光望遠鏡の計画

シュミットによる上記の諸観測および測定からは、興味ある諸種の天体が数多く拾い上げられた。世界各地のシュミットをもつ天文台では、大型ないし中型の望遠鏡が併設されていて、より詳細な観測への連繋が能率的に行われ、立派な成果を挙げている。その大望遠鏡については現在岡山を中心とした計画が進行中であるが、木曾でも、空の暗さを生かして、暗い等級まで到達できる測光用の中小口径望遠鏡を設置したいという希望が強まっている。18等級までの光電測光、50 A/mm 前後の中分散の分光測光、非星天体の二次元測定装置による表面測光などが計画されており、すでに諸種の検討がなされてきた。18等というのは、UGR の三色像写真や、 $2^\circ$  プリズムのスペクトル写真で十分に拾い上げられる等級な



### 名古屋大学物理学教室教官公募

昭和55年2月20日  
主任 小川修三

1. 公募人員 助手 1名
2. 所 属 天体物理学研究室 (A研)
3. 専門分野 電波天文学
4. 着任時期 決定後なるべく早い時期
5. 任 期  $5 \pm 2$  年
6. 提出書類 履歴書、研究歴、業績リスト、論文別刷、研究計画、(推薦書のある方は添えて下さい)
7. 締 切 昭和55年5月15日 (木)
8. 提 出 先 〒464 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学理学部物理学教室  
小林ひろ美 宛  
(封筒の表に「電波天文学助手応募」と  
朱記のこと)

ので、少くともこの等級までの測光を行って、探査天体の等級値の較正をはかり、サーベイリストの内容を高めたいのである。ちなみにパロマー、ラシヤ (ESO)、セロ・トロロにはいずれもシュミットと大口径のほかに 1.5 m の望遠鏡があって機動性に富んだ使われ方がなされている。

### 3. 観測プログラムの申込みと割当て

シュミット望遠鏡および諸測定機の使用については、使用2カ月前の20日までに受付けた申込を配列し割当てをした上で、毎月ごとのプログラムを作製している。ただししだいに希望が増し、とくに新月期は申込が混み合って割当に困るようになったので、一月単位より季単位のプログラムの方が編成し易いかも知れない。この辺はもう少し様子をみた上で方針をきめることになるであろう。

## 夜天光観測

木曾観測所では、シュミット望遠鏡と並んで、大気光測光器をはじめとする数種の夜天光観測装置が設置され、この方面的観測の一つの中心ともなっている。主として自動的な定常観測が行われ、1979年からは大気光世界資料センターへのデータの定常報告が開始された。また太陽離角が  $90^\circ$  以上の範囲での、黄道光中心線の位置決定といった成果も得られている。

1979年11月6, 7の2日間、地元三岳村役場の会議室を会場として、大気光会議が開催され、IMS (国際磁気圏観測計画) の光学現象研究分科会の関係者二十数名の出席があった。なおその会期中、木曾観測所の見学も行われた。

9. 問合せ先 同上 藤本光昭  
(Tel. 052-781-5111 内 6657, 2427)  
又は 河鰐公昭 (同 内線 6404)

### 日本証券奨学財団研究助成募集

上記について、学会宛に募集要項がとどいています。趣旨は、学術文化の研究調査に従事している者に対し、その研究調査を奨励し、学術の振興をはかり、もって社会の発展と福祉に寄与することを目的としていて、対象者は、大学において学術文化の研究調査に従事している個人又はグループとし、その研究者の年令は 55 歳以下とする。ただし大学間にまたがるグループでもよく、代表者は 55 歳以下とかぎらない。なお研究調査分野の範囲で、当学会に關係ある理学及び工学については、エネルギー問題及び環境問題に関するものを重視する、ということで、助成金の総額は 3000 万円、申請期間は 55 年 3 月 1 日から 4 月末日までとなっています。関心のある方は、本学会庶務理事宛に御照会下さい。